

営業収益は、主力のカード事業、ショッピングクレジット事業、決済事業の収益が安定的に増加し、ローン事業を中心とする融資収益も増収に転じ、508億円(前年同期比3.5%増)。  
 営業費用は、トップラインの伸長に伴う貸倒関連費用の増加などにより、441億円(同1.6%増)。  
 この結果、経常利益は70億円(同24.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は59億円(同20.5%増)。

1. 要約損益計算書

(単位:億円)		FY2014 3Q累計	FY2015 3Q累計	前年同期比	FY2015業績予想*	
					通期	進捗率
1	営業収益	491	508	3.5%	686	74.1%
2	営業費用	434	441	1.6%		
3	販売費及び一般管理費	417	423	1.4%		
4	人件費・物件費等	356	359	0.9%		
5	クレジットコスト	61	63	4.5%		
6	貸倒引当金繰入額	52	63	21.4%		
7	利息返還損失引当金繰入額	8	-	-		
8	金融費用	17	18	6.9%		
9	営業利益	56	66	18.0%	97	68.8%
10	経常利益	56	70	24.8%	97	73.1%
11	親会社株主に帰属する四半期純利益	49	59	20.5%	80	74.8%

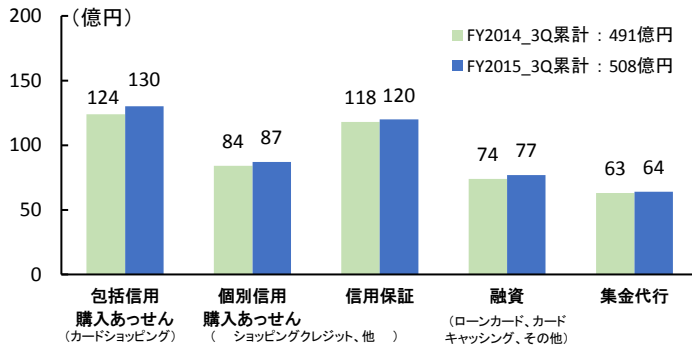
\*2015年5月12日公表

<アプラスグループ 各事業のトピックス>

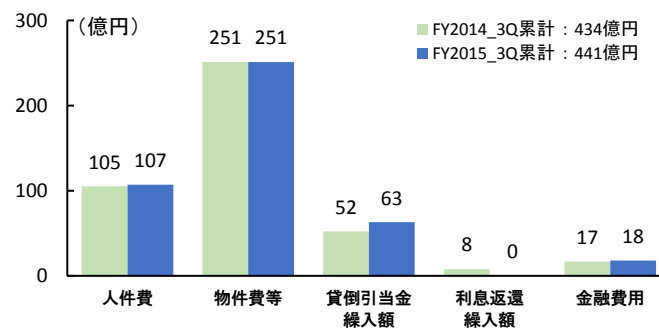
- (カード事業)
- ・新生銀行グループの新規事業として、海外専用の「海外プリペイドカード GAICA(ガイカ)」の発行開始
  - ・「Tポイント」機能を搭載したクレジット機能付きTカードの推進
  - ・全日信販が行うカード事業のアプラスへの集約を進めることを決定
- (ショッピングクレジット事業)
- ・「アプラスeオーダー」の利用可能な加盟店網の拡大
  - ・営業拠点の新規出店(鹿児島支店)
- (決済事業)
- ・賃貸管理会社などの家賃回収をサポートする「家賃サービス」の堅調な伸び
- (ローン事業)
- ・住宅購入の際の諸費用等を対象としたローン商品「マイホームプラン」などの残高の着実な伸長
  - ・賃貸住宅入居時の費用等を資金使途とするローン商品「レンタルハウスプラン」の取扱い開始

2. 部門別営業収益

※グラフには金融・その他収益を含まない

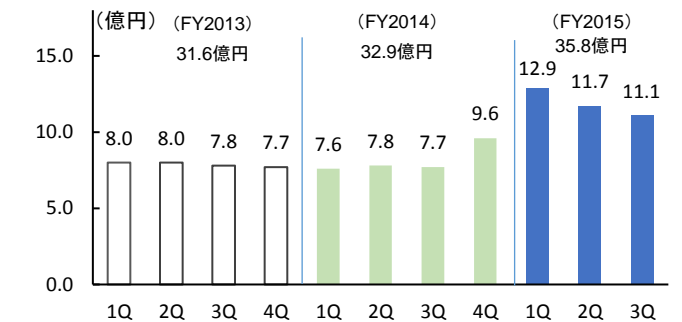


3. 営業費用内訳



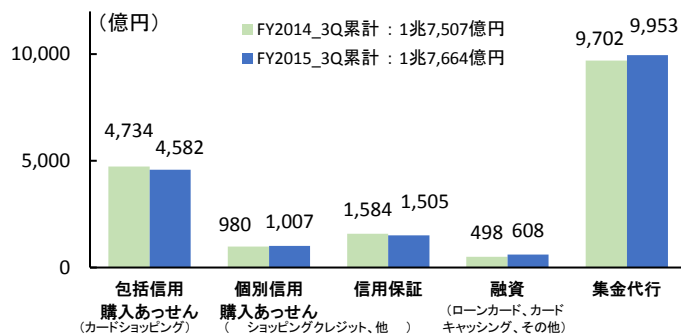
4. 利息返還実績四半期推移

※FY2014\_4Q以降のグラフには吸収合併した新生カードの実績を含む



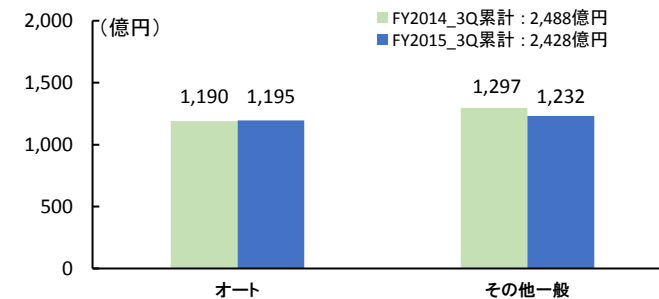
5. 部門別取扱高

※グラフにはリース・その他取扱高を含まない



6. ショッピングクレジット取扱高内訳

※「個別信用購入あっせん」と「信用保証」の一部



7. 融資取扱高内訳

